

【同和問題】

貸出No.	題名	制作年度 再生時間	内容	副読本
新 299	シリーズ映像でみる人権の 歴史 第10巻 差別のない社会へ -私たちはどう生きるか-	R04年 (2022年) 20分	子どもたちが直面したいじめをきっかけに、4人のゲストティーチャー(被差別部落出身の上川多実さん、電動車椅子ユーザーの伊是名夏子さん、在日コリアン3世の金曙光さん、日本人とアメリカ人とのダブルの千太郎さん)を招いたオンライン学習を通じて、子どもたちが社会にある様々な差別に気づき、自分自身を見つめ直し、よりよい生き方をめざす姿を描いています。子どもたちに、差別を許さない生き方はどうあるべきか、現代社会に残る差別を解決していくために自分は何ができるかを考えてもらうドラマ形式の教材になっています。	
新 298	シリーズ映像でみる人権の 歴史 第9巻 芸能と差別 -文化を生み育てた人々-	R04年 (2022年) 20分	室町時代から江戸後期に至るまでの「能」「歌舞伎」「人形浄瑠璃」などを取り上げつつ、現代にも伝わる徳島県の「門付け芸」や富山県の「おわら風の盆」などを実際に取材し、消えかかった芸能を保存・継承してきた方々へのインタビューを取り入れ、いかに芸能が差別を乗り越えた民衆によって支えられ発展し、現在まで継承されているかを学ぶ教材です。	
289	シリーズ映像でみる人権の 歴史 第8巻 ひとと皮革(かわ)の歴史	R03年 (2021年) 19分	動物の肉や皮等は、人々の生活と密接に関わり、「ひと」の文化を発展してきました。皮革製品の製造過程を取材した貴重な映像を通して、部落差別の愚かさや「いのち」の大切さを考えられる作品です。	
288	シリーズ映像でみる人権の 歴史 第7巻 水平社を立ち上げた人々 -人間は尊敬すべきものだ-	R03年 (2021年) 17分	日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や、創立大会の様子など、自分たちの力で差別をなくそうと立ち上がった人々の姿から学ぶことにより、「差別」や「いじめ」を根絶するため、いま何をなすべきか問います。	
281	ともに生きる 私たちの未来 「部落差別解消推進法」が めざすもの(BD)	H30年 (2018年) 38分	部落にアイデンティティを持ち、様々な活動を通して部落差別をなくすためにチャレンジしている人びとがいます。被差別部落の産業に関わる和太鼓の演奏活動を通して、部落解放を伝えていく人。自分達が生まれた地域や文化に誇りを持つ次世代の育成に取り組む人。教育を通して、人権意識を根付かせ、民主的な社会を実現しようとする人。部落内外のさまざまな人を巻き込んで、協働で地域づくりに取り組む人。そんな人たちの姿を追い、法律の解説とあわせて、部落差別解消への展望を描く作品です。	
280	ともに生きる 私たちの未来 「部落差別解消推進法」が めざすもの(DVD)			
277	今そこにいる人と、しっかり 出会う -同和問題-	R02年 (2020年) 24分	同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品となるように構成されています。ドラマ形式描いていますので、登場人物の気持ちに寄り添って視聴することができます。	
273	2020年度 10月 新推進 委員基礎講座①・②(BD)	R02年 (2020年) 各 60分	新しく豊中市人権教育推進委員協議会新新推進委員になられた方に対して2020年10月14日・21日に開催された新推進委員基礎講座①・②の内容を収録したものです。講師は西田益久先生と新堀祥一先生です。	
272	2020年度 10月 新推進 委員基礎講座①・②(DVD)	R02年 (2020年) 各 60分	新しく豊中市人権教育推進委員協議会新新推進委員になられた方に対して2020年10月14日・21日に開催された新推進委員基礎講座①・②の内容を収録したものです。講師は西田益久先生と新堀祥一先生です。	
265	「恥ずかしい」のはどっちだ 差別する側・される側 -江嶋修作-	H30年 (2018年) 30分	稚拙な同和教育を批判する時に誰もが一度は口にするタテマエ・タテジワ・タニンゴト。創唱したのは、社会学者の江嶋修作だ。40年に亘り同和教育の改革を訴え続け、意識改革の端緒を開くとともに、多くの青年たちも育てた。部落差別解消推進法の施行後の今、新しい解放教育を示した教材です。	

貸出No.	題名	制作年度 再生時間	内容	副読本
257	「部落の心を伝えたい」シリーズ 第31巻 ありのまま生きる ～坂田愛梨・瑠梨～	H29年 (2017年) 24分	差別との闘い方を教えたのは江嶋修作先生だった。母から受け継いだ「ありのまま生きる覚悟」。就職・結婚・出産を経た今、「伝えるべきことは？ 仲間、つながり…部落問題をはじめとする人権問題を考えることが「生きる力」を育んだ。	
247	そんなの気にしない -同和問題-	H28年 (2016年) 17分	二人の友だち同士が主人公です。タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。告白したほうは、相手にもっと知ってほしかった。告白されたほうは相手が、そのままの相手でも何も変わらないことを伝えなかった。しかし、その一言がきっかけで二人はすれ違っていきます…。	
232	人権アーカイブス 同和問題 ～過去からの証言、 未来への提言～	人権教育啓発 担当者向け H26年 (2014年) 60分 一般向け19分	この教材は、我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、一般市民を対象とした、啓発現場においても使用できる有効なツールとしての映像も併せて制作し、同和問題の解決のために次世代へ伝承するものです。	
223	あなたに伝えたいこと	H26年 (2014年) 36分	物語の主人公はごく普通の若い女性。物語が進む中で、彼女は自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などの関わりを通して、ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知り合うことが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを明るい希望とともに伝えます。	●
222	「部落の心を伝えたい」シリーズ 第20巻 52才の立場宣言 ～岡潤爾～	H24年 (2012年) 26分	牛馬の皮剥ぎ職人として生きてきた岡さん。“矢は矢で”返してきた岡さんの解放運動が大きく変わったのは本当の仲間がいたから。「本音で語り、共感し、本気で動く」という信念に基づき活動する姿を描きだした作品。	
216	「部落の心を伝えたい」シリーズ 第22巻 心の窓を拓いて ～明石一朗～	H25年 (2013年) 30分	学校教育を通じ人権教育に深く携わる。教育のチカラを信じる日々。人権力を育むのは「好感・共感・親近感」。差別解消の見通しを具体的に示す講演は学校・家庭・地域コミュニティー・職場に元気と勇気を与える。今日の部落問題を誰にでも分かりやすく明快に論じる最適な「入門編」	
214	「部落の心を伝えたい」シリーズ 第13巻 母娘で問うた部落差別 ～坂田かおり・愛梨・瑠梨～	H22年 (2010年) 30分	鳥取県米子市を拠点に活動する坂田かおりさん。今回、愛梨・瑠梨との母娘講演が実現。出産後、部落出身を隠して生きた数年間…保育所でのダウン症・脳性マヒの母子との出会いが転機となり、二度目の部落宣言を。心臓移植を待つ少年、就職に悩む在日コリアンなど、隣保館の相談員として多忙な日々を生きる。	
210	同和問題 これからの課題 「特別措置法」の期限を 迎えて	H15年 (2003年) 28分	「同和对策事業」の33年間を総括。同和問題の何が変わって、何が変わらなかったのでしょうか。その検証の中から、これからの同和問題を考えていきます。	
203	部落解放運動の歩み 人間は尊敬すべきもの	H24年 (2012年) 60分 3分構成 各20分	1922年3月3日、京都市の岡崎公会堂で全国水平社が創立されました。このビジュアル教材(人権啓発DVD)は、部落解放・人権研究所編『部落解放運動の歩み100項 ビジュアルブック』(2011年、解放出版社)の内容を、より多くの方に理解していただくため、同書の姉妹編として制作したものです。	
184	白紙のページ ～食肉と私たちの矛盾～	H19年 (2007年) 29分	このビデオは食肉を支えている人々の思いを取材し、食卓に「肉」が供せられるまでの過程の記録を通して食の安全についても改めて考えようとする素材を提供したものです。	

貸出No.	題名	制作年度 再生時間	内容	副読本
182	「部落の心を伝えたい」シリーズ 第15巻 夫婦で差別と闘います ～石井真澄・千晶～	H22年 (2010年) 30分	結婚して3年、部落出身の妻と部落外の夫は講演活動を始めました。異なる立場から二人の講演は部落差別の実態を重層的に暴いてゆきます。二人の結婚を祝福した人、応援した人、そして悩んだ親たち……。赤裸々に語られる差別心とは。	
181	「部落の心を伝えたい」シリーズ 第14巻 人権感覚を磨きませんか ～大湾昇～	H22年 (2010年) 30分	沖縄出身の父と部落出身の母を持つ大湾さん。心理テストや自ら描いたマンガを使った講演は人権問題を分かり易く説き起こすと話題に。学習会指導員として子どもたちと関わる中でいじめ等の差別の芽がどのように生まれるのか鋭く指摘、問題解決にも踏み込んでいきます。	
180	「部落の心を伝えたい」シリーズ 第1巻 更池の語り部 ～吉田小百合～	H13年 (2001年) 30分	「なんで読み書きできへんねん・・・学校いかれへんから」「何で学校いかれへんねん・・・金ないから」「なんで金ないねん・・・仕事ないから」「なんで仕事ないねん・・・そこに部落差別があるから」	
179	私の中の差別意識 ～部落差別問題から考える～	H22年 (2010年) 24分	この作品では、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別が無くなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自ら差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。	
172	人 とよなか 寺本 知 つよく やさしく あたたく	H25年 (2013年) 17分	「差別はしてはならん、すべてみな平等である」寺本知さんの差別と向き合いながら成長していく姿を描いた教材です。	